

# 仙台市名誉市民

本多光太郎 .....	3
志賀潔 .....	4
土井林吉（晩翠） .....	5
熊谷岱蔵 .....	6
榎有恒 .....	7
村上武次郎 .....	8
阿部次郎 .....	9
増本量 .....	10
野副鉄男 .....	11
内ヶ崎贊五郎 .....	12
一力次郎 .....	13

黒川利雄.....	14
千嘉代子.....	15
菊地養之輔.....	16
加藤多喜雄.....	17
西澤潤一.....	18
石田名香雄.....	19
杉村淳.....	20
加藤陸奥雄.....	21
小田滋.....	22
一力一夫.....	23
岩崎俊一.....	24



ほんだ こうたろう  
**本多 光太郎**

### 生年月日

明治3年2月23日

(昭和29年2月12日逝去)

### 顕彰日

昭和24年5月2日

### 経歴

明治35年	東京帝国大学大学院卒業
大正6年	「KS鋼」を発見
大正8年	東北帝国大学附属鉄鋼研究所長
昭和6年	東北帝国大学総長
昭和12年	文化勲章受章

### 事績

物質の磁氣的性質・物理冶金学の研究により、強力な磁石の材料「KS鋼」を発見し、世界鉄鋼学の至宝とされた。東北帝国大学では鉄鋼研究所（現：金属材料研究所）を創設。また、同大総長として大学改革にも尽力し、学術研究体制の確立と人材育成を推進するなど、その功績は極めて大きい。

## 仙台市名誉市民



しが きよし  
志賀 潔

### 生年月日

明治3年12月18日

(昭和32年1月25日逝去)

### 顕彰日

昭和24年5月2日

### 経歴

明治29年	東京帝国大学医科大学卒業
明治30年	「志賀赤痢菌」を発見
昭和4年	京城帝国大学総長
昭和11年	ハーバード大学名誉学位
昭和19年	文化勲章受章

### 事績

細菌学者として赤痢の病原菌を発見し、赤痢の治療・予防の進展に大きく寄与した。北里研究所において伝染病研究に従事し、我が国における細菌学研究的基礎を確立するとともに、医学教育や研究体制の整備にも尽力した。日本の医学研究を国際的水準へと高めるうえで重要な役割を果たし、その学術的功績は国内外から高く評価されている。

## 仙台市名誉市民



どい りんきち ばんすい  
土井 林吉 (晩翠)

### 生年月日

明治4年10月23日

(昭和27年10月19日逝去)

### 顕彰日

昭和24年5月2日

### 経歴

明治30年	東京帝国大学文科大学英文科卒業
明治31年	「荒城の月」作詞
明治33年	第二高等学校教授
昭和25年	文化勲章受章

### 事績

詩人・英文学者として活躍し、「荒城の月」をはじめとする数多くの詩を世に送り、日本の近代詩の発展に大きな役割を果たした。第二高等学校教授として長年にわたり教育に携わり、文学を通じて多くの学生を指導するほか、日本芸術院会員として文学の振興にも寄与するなど我が国の文化・芸術の向上に大きく貢献した。



くまがい たいぞう  
**熊谷 岱蔵**

## 生年月日

明治 13 年 7 月 19 日  
(昭和 37 年 2 月 19 日逝去)

## 顕彰日

昭和 31 年 7 月 16 日

## 経歴

明治 39 年	東京帝国大学医科大学卒業
昭和 15 年	東北帝国大学総長
昭和 16 年	東北帝国大学抗酸菌病研究所長
昭和 27 年	文化勲章受章

## 事績

結核の臨床研究に取り組み、青年期結核の病態解明や予防・治療法の確立に大きな役割を果たした。人工気胸療法の改善と普及に尽力するとともに、BCGをはじめとする結核の予防・治療に関する研究を進めた。また、東北帝国大学抗酸菌病研究所の設立に関わり、結核研究を総合的に行う体制を整備したほか、国の結核対策にも参画し、我が国における結核医療の発展に寄与した。それら功績は誠に偉大であり不朽である。



まき ゆうこう  
榎 有恒

## 生年月日

明治 27 年 2 月 5 日

(平成元年 5 月 2 日逝去)

## 顕彰日

昭和 31 年 7 月 16 日

## 経歴

大正 6 年	慶應義塾大学卒業
明治 19 年	日本山岳会会長
昭和 31 年	マナスル第 3 次登山隊長 初登頂
昭和 31 年	文化功労賞章

## 事績

常念岳、穂高岳、槍ヶ岳など日本の主要な山々に登るとともに、渡欧中はスイスを拠点にアルプス各地を踏破。さらに、カナディアンロッキーのアルバータの初登頂を成し遂げるなど、国内外の登山において多彩な経験を重ねた。昭和 31 年には第 3 次マナスル登山隊を率い、2 度に渡り登頂に成功。これは 8,000 メートル級の山として東洋人初の登頂であり、日本の登山史において偉大な功績となった。



むらかみ たけじろう  
**村上 武次郎**

### 生年月日

明治 15 年 11 月 10 日

(昭和 44 年 7 月 29 日逝去)

### 顕彰日

昭和 34 年 6 月 10 日

### 経歴

大正 3 年	京都帝国大学理科大学純正化学科卒業
明治 11 年	東北帝国大学金属材料研究所長
昭和 25 年	日本金属学会会長
昭和 31 年	文化勲章受章

### 事績

物理冶金学及び特殊鋼研究の第一人者として、特殊鋼の組織解析に不可欠な「村上試薬」を考案し、世界各国で用いられるなど、我が国の金属材料研究を一躍世界の第一線へ導いた。また、東北帝国大学金属材料研究所長として研究体制を強化し、学術成果の実用化を推進するなど、研究・教育・産業振興の各分野における業績は誠に偉大である。



あべ じろう  
阿部 次郎

### 生年月日

明治 16 年 8 月 27 日

(昭和 34 年 10 月 20 日逝去)

### 顕彰日

昭和 34 年 6 月 10 日

### 経歴

明治 40 年	東京帝国大学卒業
大正 3 年	「三太郎の日記」を刊行
昭和 16 年	東北帝国大学法文学部長
昭和 21 年	東北帝国大学名誉教授
昭和 22 年	帝国学士院会員

### 事績

日本を代表する思想家・文学者であり、著書「三太郎の日記」は青年の自己探求の書として世代を超えて読み継がれた。東北帝国大学では、30 年間にわたり面会日を設けて自宅を開放し、自由と真実を追求する若者達と雑談を楽しみ、精神的な指針を与えた。ニーチェやゲーテの研究や日本文化の調査において独自の成果を残し、日本の文化の発展に貢献された功績は、高く評価されている。

## 仙台市名誉市民



ますもと はかる  
**増本 量**

### 生年月日

明治 28 年 1 月 9 日

(昭和 62 年 8 月 12 日逝去)

### 顕彰日

昭和 34 年 6 月 10 日

### 経歴

大正 11 年	東北帝国大学理学部物理学科卒業
昭和 25 年	東北大学金属材料研究所所長
昭和 30 年	文化勲章受章
昭和 32 年	日本金属学会会長

### 事績

物理冶金学・計測材料学・磁性材料学の世界的研究者として、超不変鋼や「センダスト」など数多くの革新的な合金を発見し、精密計測機器や新幹線の安全運行など現代社会の基盤技術に貢献した。東北大学金属材料研究所長を歴任し、産学連携による工業化にも尽力された。また、貴重な論文を数多く発表し、特許 183 件という驚異的な業績を残されるなど、世界の金属学会を牽引し続けたその功績は、日本の誇りとして高く評価されている。



のぞえ てつお  
**野副 鉄男**

### 生年月日

明治 35 年 5 月 16 日  
(平成 8 年 4 月 4 日逝去)

### 顕彰日

昭和 34 年 6 月 10 日

### 経歴

大正 15 年	東北帝国大学理学部化学科卒業
昭和 33 年	文化勲章受章
昭和 41 年	東北大学名誉教授
昭和 47 年	勲一等瑞宝章受章
昭和 50 年	日本化学会会長

### 事績

有機化学者としてヒノキチオールとトロポロンの合成に成功し、有機化学における新分野を切り拓いた。研究は常に諸外国の先端をきり、合成や物理性、特に異常な化学性の研究において輝かしい成果を上げられた。また、東北大学において研究と後進の教育に尽力した。日本の有機化学研究を世界最先端へと導いた功績は極めて大きい。



うちがざき うんごろう  
**内ヶ崎 贇五郎**

## 生年月日

明治 28 年 9 月 25 日

(昭和 57 年 9 月 22 日逝去)

## 顕彰日

昭和 36 年 6 月 10 日

## 経歴

大正 8 年	東京帝国大学工学部電気工学科卒業
昭和 22 年	東北電気協会会長
昭和 26 年	東北電力株式会社設立 取締役社長
昭和 28 年	仙台商工会議所会頭
昭和 40 年	勲二等瑞宝章受章

## 事績

戦前・戦後を通じ東北地方の電源開発に尽力し、地域産業と市民生活の基盤整備に大きく貢献した。東北電力初代社長として、只見川開発などの電力開発を牽引し、工業発展のみならず地域社会の近代化を支える礎を築いた。その卓越した識見と指導力による東北開発の推進のほか、社会の福祉の向上と教育、文化の向上発展にも尽くされた功績は極めて大きい。

## 仙台市名誉市民



いちりき じろう  
**一力 次郎**

### 生年月日

明治 26 年 8 月 12 日

(昭和 45 年 7 月 7 日逝去)

### 顕彰日

昭和 39 年 6 月 10 日

### 経歴

大正 6 年	京都帝国大学法学部卒業
昭和 4 年	河北新報社社長
昭和 29 年	東北放送株式会社取締役社長
昭和 35 年	仙台市総合企画協議会会長
昭和 40 年	勲三等旭日中綬章受章

### 事績

河北新報社を率い、不偏不党の精神で河北新報を東北ブロック紙として育て上げた。東北放送の設立や東北の観光資源の開発、スポーツ振興にも情熱を注いだ。また、仙台市総合企画協議会会長として百万都市大仙台建設の一大構想を確立し、新産業都市指定の推進に寄与するなど、幅広い分野における功績は極めて大きい。



くろかわ とし お  
**黒川 利雄**

### 生年月日

明治 30 年 1 月 15 日

(昭和 63 年 2 月 21 日逝去)

### 顕彰日

昭和 39 年 6 月 10 日

### 経歴

大正 11 年	東北帝国大学医学部卒業
昭和 32 年	東北大学長
昭和 42 年	勲一等瑞宝章受章
昭和 43 年	文化勲章受章
昭和 61 年	日本学士院院長

### 事績

消化器病学、特になん検診の世界的権威として、胃がんのレントゲン検査の応用に力を注ぐとともに、移動検診車による「宮城方式」の集団検診を開発・導入してがんの早期発見に革命をもたらした。また、東北大学学長として大学の研究成果を地元産業に直結させ、東北の振興に貢献するなど国内外で高く評価されている。



せん かよこ  
千 嘉代子

### 生年月日

明治 30 年 10 月 6 日

(昭和 55 年 9 月 7 日逝去)

### 顕彰日

昭和 44 年 6 月 10 日

### 経歴

大正 4 年	東華高等女学校卒業
大正 6 年	裏千家家元 14 代淡々斎宗室宗匠と結婚
昭和 39 年	財団法人国際茶道文化協会理事長
昭和 46 年	日本ソロプチミスト本部会長
昭和 53 年	勲三等瑞宝章受章

### 事績

幼少から茶道への修行に努め、裏千家家元 14 代淡々斎宗室宗匠と結婚後は日本の茶道文化振興の道に進んだ。「国民皆茶への道」を提唱し、日本茶道の隆昌の基礎づくりに貢献されたほか、国際茶道文化協会理事長として海外での日本文化の紹介や国際親善にも尽力された。また、仙台市に対して「裏千家家元千嘉代子文庫」の寄贈や茶室緑水庵の整備援助を行うなど、郷土の文化振興にも寄与した。

## 仙台市名誉市民



きくち ようのすけ  
菊地 養之輔

### 生年月日

明治 22 年 9 月 5 日

(昭和 58 年 1 月 5 日逝去)

### 顕彰日

昭和 52 年 6 月 10 日

### 経歴

大正 3 年	中央大学法科卒業
昭和 6 年	宮城県議会議員に初当選
昭和 12 年	衆議院議員に初当選
昭和 17 年	仙台弁護士会会長
昭和 28 年	日本弁護士会連合会副会長
昭和 42 年	勲二等瑞宝章受章

### 事績

弁護士、政治家として日本の民主主義確立に貢献した。特に日本国憲法の制定に際しては、憲法改正特別委員会委員長代理として尽力し、平和民主憲法の根幹を確固たるものにした。弁護士活動を通じても人権擁護に渾身の努力を払い、また、日中友好交流の先覚者として、国際親善にも情熱を注いだ。その県政、国政、法曹界への功績は卓抜である。

## 仙台市名誉市民



かとう たきお  
加藤 多喜雄

### 生年月日

明治 36 年 2 月 12 日

(平成 3 年 4 月 19 日逝去)

### 顕彰日

昭和 52 年 6 月 10 日

### 経歴

大正 15 年	東北帝国大学卒業
昭和 37 年	東北大学工学部長
昭和 37 年	仙台市健康都市建設協議会会長
昭和 43 年	仙台市科学館長
昭和 48 年	勲二等旭日重光章受章

### 事績

工業分析化学の学問としての定義を確立し体系化に努められた。発表論文は百数十編にのぼるほか日本分析化学会会長を歴任するなど、広い分野にわたり貴重な成果を残された。また、仙台市科学館創設に尽力し、市民の科学教育に寄与。その他、仙台市健康都市建設協議会会長として 28 年間健康都市づくりを牽引するなど、住みよい仙台のまちづくりに献身された功績は絶大である。

## 仙台市名誉市民



にしざわ じゅんいち  
**西澤 潤一**

### 生年月日

大正 15 年 9 月 12 日

(平成 30 年 10 月 21 日逝去)

### 顕彰日

昭和 59 年 6 月 10 日

### 経歴

昭和 23 年	東北大学工学部電気工学科卒業
昭和 58 年	東北大学電気通信研究所所長
平成元年	文化勲章受章
平成 2 年	東北大学総長
平成 14 年	勲一等瑞宝章受章

### 事績

電子工学分野で卓越した業績を挙げ、世界的に高い評価を受けた。半導体その他の電子材料の基礎研究を工学的応用と結びつけ、静電誘導型トランジスタの理論確立や高輝度発光ダイオード、光通信の先駆的研究を推進した。また、東北大学総長として産学共同の体制のもとで研究及び後進の指導に尽力されるなど、その功績は極めて大きい。



いしだ なかお  
石田 名香雄

## 生年月日

大正 12 年 3 月 6 日  
(平成 21 年 12 月 4 日逝去)

## 顕彰日

平成元年 6 月 10 日

## 経歴

昭和 21 年	東北帝国大学医学部卒業
昭和 28 年	「センダイウイルス」の発見
昭和 58 年	東北大学学長
平成 4 年	日本医学会副会長
平成 8 年	勲一等瑞宝章受章

## 事績

細菌学・ウイルス学の世界的権威として「センダイウイルス」を発見し、その構造と機能の解明を通じて日本の医学、医療の世界的な評価の向上に大きく貢献した。また、東北大学学長として大学の運営に尽力するほか、東北インテリジェント・コスモス構想推進協議会の会長としては地域の学術・産業振興を牽引。その他、仙台国際交流協会理事長を務め、国際学術都市仙台の推進に奔走するなど、多方面にわたるその功績は絶大である。



すぎむら じゅん  
杉村 惇

## 生年月日

明治 40 年 9 月 7 日  
(平成 13 年 8 月 13 日逝去)

## 顕彰日

平成 8 年 7 月 1 日

## 経歴

昭和 7 年	東京美術学校西洋画科卒業
昭和 36 年	日展菊華賞受賞
昭和 58 年	日展文部大臣賞受賞
昭和 59 年	日展参与
平成 2 年	紺綬褒章受章

## 事績

日本の洋画界を代表する具象作家であり、静物画において「存在と空間」を追求する独自の個性的様式を確立し、洋画界の第一人者として確固たる地位を築かれた。また、日展など数多くの要職を歴任され画壇の発展に貢献。教育者としても東北大学教授、宮城教育大学教授を歴任して多くの人材を育てるとともに、宮城県芸術協会の創立に参画し、仙台、東北の芸術文化を振興した功績は高く評価されている。

## 仙台市名誉市民



かとう 睦 雄  
加藤 陸奥雄

### 生年月日

明治44年12月2日  
(平成9年3月8日逝去)

### 顕彰日

平成8年7月1日

### 経歴

昭和10年	東北帝国大学理学部生物学科卒業
昭和46年	東北大学学長
昭和52年	文部省大学入試センター所長
昭和57年	宮城県美術館館長
昭和58年	勲一等瑞宝章受章

### 事績

動物生態学の先駆者として、害虫学の体系を確立し、その研究は蚊、ハエの撲滅による環境衛生の向上、農作物害虫の駆除による生産性の向上など実地に寄与するものとして高く評価されている。また、大学入試センター所長などを歴任し、我が国における教育改革を牽引したほか、仙台市杜の都の環境をつくる審議会会長を務め多年にわたり杜の都の環境保全にも尽力されるなど功績は絶大である。

## 仙台市名誉市民



おだ しげる  
小田 滋

### 生年月日

大正 13 年 10 月 22 日  
(令和 7 年 9 月 4 日逝去)

### 顕彰日

平成 16 年 7 月 5 日

### 経歴

昭和 22 年	東京帝国大学法学部政治学科卒業
昭和 43 年	西ドイツ政府弁護士
昭和 51 年	国際司法裁判所裁判官
平成 15 年	日本国際法協会会長
平成 15 年	瑞宝大綬章受章
平成 24 年	文化勲章受章

### 事績

国際法、特に海洋法における世界的権威として、国際司法裁判所の裁判官を前例のない3期27年にわたり務め、数々の国際紛争解決を通じて国際平和に多大な貢献を果たした。「海洋法のオダ」としてその名は世界に轟き、国内外の政策決定や学術プロジェクトにも深く関与した。東北大学教授として後進の教育、指導や大学運営に参画するなど本市における教育の振興にも寄与している。その卓越した功績は、仙台市民の誇りである。

## 仙台市名誉市民



いちりき かずお  
**一力 一夫**

### 生年月日

大正 14 年 9 月 8 日  
(平成 26 年 7 月 20 日逝去)

### 顕彰日

平成 16 年 7 月 5 日

### 経歴

昭和 22 年	東北帝国大学法文学部法科卒業
昭和 45 年	株式会社河北新報社社長
昭和 56 年	東北放送株式会社代表取締役社長
平成 12 年	勲二等旭日重光章受章
平成 21 年	日本新聞協会新聞文化賞受賞

### 事績

河北新報社社長として、同社創立以来の不羈独立、東北振興の精神を受け継ぎ、社業の伸長に尽力され、今日の東北ブロック紙としての地位を確固たるものとした。また、横綱審議委員会委員長を務め相撲の保存継承に貢献するほか、慶長使節船の復元やアテルイの顕彰など、郷土の歴史と文化の発掘・称揚に力を注いだ。報道、スポーツ、歴史等の国民文化の向上並びに本市発展の牽引役として果たされた指導的役割は誠に顕著であり、仙台市民の誇りである。



いwasaki  
**岩崎**  
しゅんいち  
**俊一**

### 生年月日

大正 15 年 8 月 3 日

(令和 7 年 7 月 25 日逝去)

### 顕彰日

平成 26 年 7 月 7 日

### 経歴

昭和 24 年	東北大学工学部通信工学科卒業
昭和 52 年	「垂直磁気記録方式」を発明
昭和 61 年	東北大学電気通信研究所長
平成元年	東北工業大学学長
平成 16 年	東北工業大学理事長・学長
平成 25 年	文化勲章受章

### 事績

電気通信工学と高密度磁気記録研究の研究者として「垂直磁気記録」を発明し、コンピューターなどに使われるハードディスク装置の記憶容量を飛躍的に増大させ、今日の情報社会の発展に全人类的な貢献を果たした。また、東北工業大学学長及び理事長として、地域の高等教育の発展と研究成果の社会還元にも尽力され、地域社会への貢献も顕著である。